

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年6月

調査年月:令和5年3月

回収率100%

事業所名:こどもデイサービスしよこら

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	78%	22%	0%	0%	
	2	職員の配置数は適切である	44%	44%	0%	11%	公休等で員数が適切でないと思われる日がある
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	22%	78%	0%	0%	玄関の段差あり
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	67%	22%	0%	11%	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	44%	0%	0%	56%	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	44%	0%	0%	56%	http://kawaikaigo.com/ で閲覧可
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	0%	22%	78%	第三者評価は行っていません
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	44%	11%	0%	44%	1回/月実施している
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	0%	0%	スタッフからの意見もよく盛り込まれていると思われる
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0%	22%	0%	78%	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	0%	0%	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	0%	0%	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	0%	0%	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	0%	0%	1回/月行われる、全員参加の制作の週がとても有効に思われます
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	44%	33%	0%	22%	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	56%	11%	11%	22%	個別評価表を翌日ミーティングで話し合っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	78%	11%	0%	11%	個別の評価表あり
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	78%	0%	0%	22%	個別に毎/6ヶ月で実施
関係機関や 保護者との 連携	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	11%	11%	0%	78%	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	78%	0%	0%	22%	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	67%	11%	0%	22%	必要な児童に対しては、学校迎え時にこちらから何うようにしています
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	0%	0%	0%	非該当
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	44%	0%	0%	56%	担当者会議にて聞き取り、情報提供を行っている
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	33%	0%	0%	67%	担当者会議にて情報提供を行っている
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0%	11%	0%	89%	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	22%	11%	44%	22%	町内行事に参加
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0%	0%	33%	67%	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	0%	0%	送迎時や連絡帳にて情報の共有ができるよう積極的に働きかけている
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0%	11%	22%	67%	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	78%	0%	0%	22%	契約時には具体的説明を行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	78%	0%	0%	22%	連絡帳記載内容の困難ケースは情報共有し、送迎時の聞き取りや相談員へ情報提供を行っている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	0%	44%	56%	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	89%	11%	0%	0%	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	22%	22%	33%	22%	行事間近になるが、スケジュールや活動内容を別紙にて発信しています
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	0%	0%	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	89%	0%	0%	11%	
非常時等の 対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	33%	22%	0%	44%	町内祭礼時には、施設を公開しており、敷地内が祭礼の休憩所となっています
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	11%	44%	0%	44%	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	67%	0%	0%	33%	年に1~2回実施している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	44%	22%	0%	33%	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	0%	0%	0%	0%	該当する児童無し
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0%	0%	0%	0%	該当する児童無し
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	78%	0%	0%	22%	実地指導にて多く指摘できている事が望ましいとの事で、具体性、抽出量の向上に努めています